

慢性疾患看護専門看護師

専門領域：糖尿病・腎臓病

小江奈美子

専門看護師の役割

【6つの役割】

- 個人、家族及び集団に対して卓越した看護を実践する。（実践）
- 看護者を含むケア提供者に対しコンサルテーションを行う。（相談）
- 必要なケアが円滑に行われるために、保健医療福祉に携わる人々との間のコーディネーションを行う。（調整）
- 個人、家族及び集団の権利を守るために、倫理的な問題や葛藤の解決を図る。（倫理調整）
- 看護者に対しケアを向上させるため教育的役割を果たす。（教育）
- 専門知識及び技術の向上並びに開発を図るために実践の場における研究活動を行う。（研究）

慢性疾患看護専門看護師

【慢性疾患看護師とは】

生活習慣病の予防や、慢性的な心身の不調とともに生きる人々に対する慢性疾患の管理、健康増進、療養支援などに関する水準の高い看護を行います。

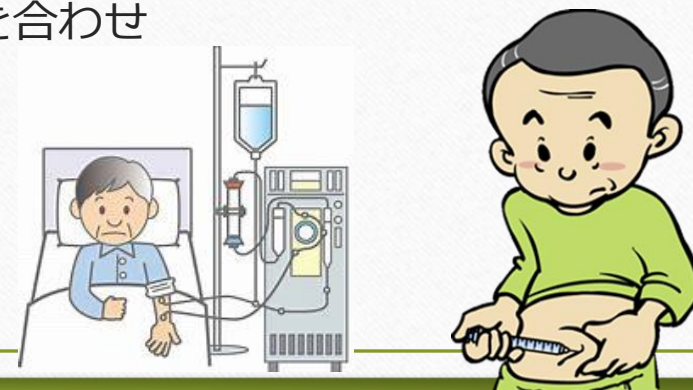
慢性疾患看護師は2004年7月に認定が開始され、現在全国に225名（2022年9月30日）が存在しています。

専門領域は、糖尿病、心臓病、関節リウマチ、腎臓病、呼吸器疾患など多岐にわたっています。

慢性疾患の特徴を捉え、看護学の発展に寄与していくという役割を合わせもち各施設・大学・大学院等で専門性を発揮しています。

【当院での専門領域と所属】

糖尿病（特に糖尿病腎症） 所属：南7階病棟



慢性疾患看護の特徴

- 慢性疾患をもつ人は、病気をもちながら生活しています。それぞれの方が生活の質（QOL）を可能な限り維持できる看護ケアが必要です。生活はそれぞれ異なりますので、個々に応じた看護ケアを考え、提供することが求められます。現在の疾患の進展・合併症を予防し、人が持っている機能を引き出しながら実践を行うことをめざしています。つねに、対象のひとが、何を目指し、何を大切に生きているのか、何を求めているのかを念頭にケアを探求していくことが求められます。



活動の実際（実践・相談・教育を中心に）

- 実践：対象を「生活者」として捉え、病気発症から退院後までの生活を一連の流れとして捉え、実践を行うことに取り組んでいます。
- 倫理調整：日常の倫理的葛藤を明確にすることを大切にしています。
- 調整・相談：円滑なケアが行われるように、いつでも相談窓口として存在できるように心がけています。
- 教育：病棟における教育支援（学習会や情報提供など）

専門看護師がもつ役割は、患者に質の高いケアを実践を土台として絡み合っています。



Four stylized human figures are arranged in a circle, facing each other. The top-left figure is dark brown, the top-right is yellow, the bottom-left is orange, and the bottom-right is a darker orange. They are simple, rounded shapes with no facial features.

チームとして成長しよう

- 慢性疾患の難しさも楽しさ面白さも、スタッフと共に感じながら、現在より少しでも質の高い看護ケアの提供、看護学の発展を目指し共に働きましょう。